

HSK



第 106 号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
H. S. K通巻405号

発行日 平成17年12月10日
(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会
札幌市北区北17条西2丁目
2番38-101

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
細川 久美子

平成17年 初冬号

**障害者自立支援法成立 患者負担増
透析長期高額療養費負担増阻止を!!**

医療講演 「透析患者の災害対策」

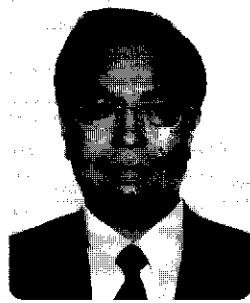


「石狩燈台の夕景」

撮影者 佐藤 功氏

北海道腎臓病患者連絡協議会

会員数200人超減る



北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 川村隆志

今年もあわただしく過ぎ去ろうとしておりますが、皆様おかりごさいませんでしようか。

平成17年度道腎協会員数が200人以上減少し4、400人になる見通しとなりました。非常に危機感を覚えます。昨年は、組織率が下がりましたが会員数は僅かながら増えました。この会員数減少の要因として考えられるのが、①昨年10月からの重度心身障害者医療費給付事業(マル障)見直しによる医療費負担など

最近の我々透析患者を取り巻く社会状況が大きく変化してきたこと②透析導入患者の高齢化による新規会員の減少③糖尿病性腎症からの導入増加や長期患者の増加による重篤化④長年腎友会を中心に支えてきた仲間達が合併症や死亡などで運動の第一線から退いている⑤個人情報保護法施行により病院スタッフからの新規患者や転院患者の情報入手困難、などが考えられます。これらの対応策として①医師・スタッフに患者会を理解して

もらう②未加入患者に患者会の必要性を理解してもらう、という2つの理解が必要です。この2つのことを理解してもらうには、腎友会活動の重要性を感じる人がいて廻りの患者さんを引っ張ってくれて、そしてその人の意気を感じて助けてくれる人がどれだけ出て来てくれるかによると思います。この会員の減少を踏まえ道腎協として10月29日に札幌パークホテルにて北海道透析医会・札幌市透析医会の先牛方、臨床工学技士会の代表の方と懇談会を持つ機会を設けることができました。我々から北海道の組織率が平成16年度末で38%全国39番目となっていて、更に平成17年度は200名以上減る見通しになる説明をしました。先生方からは「患者として恵まれた環境にいることを分かってもらっ

て、感謝の気持ちを持つ事ができれば自然と入会できるのではないか。」等、いろいろなご意見ご提案を戴きました。最後に我々からは、病院訪問する際に先生・スタッフの方々に仲介をして下さる様お願いしたところ、快諾して下さいました。この結果に基づき道腎協としても具体的に会員拡大に取り組んで参ります。いづれにしても会員を増やすには、各病院の幹事さんの地道な取り組みしかありません。このようなことから患者会が未来の社会に果たす役割について、患者ひとりひとりが考え直すことが会員拡大につながる道なのです。お願いです、ひとりでも多くの方の力をお貸し下さい。



「障害者自立支援法（現更生・育成医療を含む）」が成立！！

平成18年4月1日施行

全腎協・道腎協・地域腎友会や様々な障害者団体が反対していた法律が、10月31日の国会で成立しました。障害者が自立して行くのを逆に妨げ、各種サービスを支払い能力に応じた「応能負担」から、原則1割（上限あり）の定率払いの「応益負担」にして、障害者に今以上の負担を求めて行く法律です。この障害者自立支援法では現在の更生医療・育成医療・精神障害者の医療が「自立支援医療」としてひとつになります。

■透析患者と「障害者自立支援法」の関係

更生医療から自立支援医療になるとこれだけの負担増。

※現在、重度心身障害者医療費助成制度適用者で、初診時一部負担金のみの方は関係ありません。あくまでも更生医療を適用している患者さんだけです。

☆入院の場合、従来更生医療で支給されていた入院時給食費約24,000円/月（1日あたり780円、生活保護は0円）が負担増。

☆所得税課税世帯でも負担の増額と、限度額1万円により、人工透析患者の場合、長期高額療養費制度（負担限度

額1万円）との関係で、「自立支援医療」の制度的意味がなくなる。

☆透析治療は、生涯にわたって続く治療である。月単位の負担増は少額でも、治療が長期にわたることから大きな負担増につながる。

☆現在の透析患者の状況から、患者の高齢化・長期透析による合併症治療による他科診療の治療費、介護費用等が必要となり、負担増となる。

<更生医療を使用して人工透析で通院>

対象者区分	現行	自立支援医療
生活保護世帯	0円	0円
市町村民税非課税世帯Ⅰ	0円	2,500円
市町村民税非課税世帯Ⅱ	0円	5,000円
市町村民税均等割のみ課税世帯	2,250円	5,000円
市町村民税所得割課税世帯	2,900円	5,000円
所得税課税世帯	約3,500円～10,000円	10,000円

『最近の医療をめぐる環境について』

◆透析医療費自己負担について

前述しました様に、平成18年4月1日からは更生・育成医療が「自立支援医療」と名称を変え、現在更生医療を適用している透析者や移植者には自己負担増になります。

全国的にも、重度心身障害者医療費助成制度（マル障）が改悪されつつあります。特に、島根県では、住民税非課税の方は、外来4,000円／月限度、入院7,500円／月限度、

住民税課税の方は北海道と同じく老健法準拠で1割の自己負担、外来12,000円／月限度、入院40,200円／月限度（全腎協調査）が、平成17年10月から実施されました。

た。全国一厳しい自己負担であります。

また、国は後述の様に高額療養費の見直しの観点から、特定疾病療養（マル長）を適用している人工透析患者の自己負担限度の水準について、患者の負担能力を踏まえつつ検討すると、現在の10,000円を引上げる方針です。

◆高額療養費制度の見直しについて

現在、70歳未満の患者で一般所得者の負担限度額は、72,300円+1%ですが、これを、80,100円+2%に見直しする予定です。

高額療養費の中で、長期高額特定疾病療養に指定されている人工透析患者は、現在月額限度10,000円です。

慢性腎不全患者でも働き続け所得も多い高所得層（月収53万円以上）に限り負担額を来年10月から20,000円に引上げると報道（11月12日付）されています。（全腎協では急速、来年2月に国会請願を行

います。詳細P25）国は障害者自立支援医療で低所得者から負担を増やし、今度は高所得者という事で高額療養費を増やし、そしてまた次の見直しでは低所得者や一般所得者に負担を強いてきます。長期高額特定疾病制度は、マル障や更生医療の見直しが続いている今、私たち透析患者にとり、自己負担軽減の最後の制度です。何としてもこの見直しを阻止する活動が不可欠です。

◆医療制度構造改革試案について

平成17年10月から介護保険の見直しに伴い高齢者介護療養型医療施設に入所されている方は、たとえば、要介護5・住民税課税者・多床室で食費（食材料費+調理コスト相当）42,000円+居住費（光熱水費相当）10,000円

が掛かる様になりました。同じく医療保険適用療養病床においても同様の見直しが予定されています。

◆混合診療の在り方の見直し

混合診療とは、未承認医薬品・先進技術等の安全性に配慮しながら一定のルールの下に保険診療と保険外診療を認める医療です。もし認められない保険外診療を行なうと、医療費の全額が自己負担になります。

この医療が進められて行くと、低所得者層と社会的弱者の健康状態に「健康格差」が広がる事が予想されます。効能が証明された医療は保険診療に採り入れて、誰でもその恩恵が受けられるようにしてもらいたいものです。

将来、自己負担の枠が拡大するとアメリカ並に民間保険に加入する人が増えて、皆保険体制が空洞化する可能性もあります。

最後に、最近「勝ち組」「負け組」という言葉が、よく聞かれますが（私自身は好きではない）、社会保障特に医療に於いてはその様なことがないように願っています。

最後に、最近「勝ち組」「負け組」という言葉が、よく聞かれますが（私自身は好きではない）、社会保障特に医療に於いてはその様なことがないように願っています。

北海道ブロック会議報告

平成17年10月15日(土)・16日

(日)の両日、第59回北海道ブロック会議がホテル札幌会館に於いて役員・オブザーバー等、43名の出席で開催されました。

柳沼副会長(札幌)の開会の挨拶に始まり、逝去された病友の冥福を祈り黙祷を捧げました。



川村会長からは、「障害者

自立支援法案」が、国会に再上程され、14日に参議院で可決されました。また、昨年のマル障見直しの為か会員数が約200名減りました。その為、「自立支援法案」反対活動を要請する機関紙どうじんの臨時号の中に、入会の呼び掛けを掲載して、全患者に配布しました。」との挨拶がありました。

また、栗山北海道ブロック担当理事より、「北海道ブロックから全腎協への要望は確実に伝えるので、申し出てください。」と、挨拶がありました。続いて議長に山口副会長(苫小牧)を選出し議題に入りました。

議題

(1) 地域患者会組織活動報告

〈旭川〉

- ・患者・障害者緊急中央行動(座り込み)に参加。
- ・このままの「障害者自立支援法」では自立できません! 7・5緊急大行動、東京デモ行進参加。
- ・「障害者自立支援法」反対、7・14緊急旭川集会参加。
- ・市の障害福祉課へ福祉タクシー券とガソリン券併用の要望書を提出。

〈岩見沢〉

- ・市立病院新設透析センターへの要望書提出。
- ・近隣の施設患者との懇談会予定。
- ・通院交通費の助成を市に要望。

〈浦河〉

- ・4月から透析専門医が不在で、合併症の対応に不安がある。

安がある。
腎友会に理解のある会員達の協力により会員が増えている。

〈江別〉

- ・「美唄ピップの湯」日帰り旅行実施。
- ・腎友会の入会活動実施中。

〈小樽〉

- ・会報No.76・77号配布。
- ・親睦日帰り旅行実施。

〈オホーツク〉

- ・オホーツク腎友会独自の入会のしおり配布。
- ・事務局だより3回発行。

〈北見〉

- ・腎臓病患者へのタクシーチケット15枚加算。
- ・親睦交流会を「置戸勝山温泉ゆうゆう」で開催。

〈釧路〉

- ・「7・5緊急大行動」自立支援法「反対」東京デモ行進参加。
- ・釧路市在住の透析患者の

通院交通費支給と申請手続きを会がしていたが、暫定的に、非会員には「自己申請」で行ってもらう方法に改めた。

〈札 幌〉

- ・ 結成30周年記念誌発行。
- ・ 更生医療申請や医療費の償還払いで、各区役所で手続きや説明に不備があり、是正を市に要請する。

〈静 内〉

- ・ 透析施設に要望していた透析専門医の常駐と看護師3名の増員が実施された。

〈滝 川〉

- ・ 院長の交代により、患者会も新役員により運営を開始。
- ・ さくらんぼ狩り・パークゴルフ大会実施。

〈伊 達〉

- ・ 伊達地域にある3施設の患者の会員統一、及び入

会患者に対し腎友会の活動を説明し全腎協・道腎協の役割を説明。

〈道 南〉

- ・ 「在宅血液透析について」医療講演会開催。
- ・ 市町村合併により、今迄以上に市の福祉課との連携を密にして、福祉関係の要望をする。

〈十 勝〉

- ・ 福祉センターの一部を腎友会で事務所に使用できる事になった。
- ・ 通院交通費助成などについて市に要望。

〈苫小牧〉

- ・ サクランボ狩りと洞爺湖湖水遊覧実施。
- ・ 「甲状腺の異常とその処置」医療講演会開催。

〈根 室〉

- ・ 「自立支援医療」「全腎協事務局だより」を緊急報告として全患者に配布。

〈室 蘭〉

- ・ 新日鉄病院に対して、透析室のHDオンライン化、レイアウトの要望書を提出し、交渉したい。

〈紋 別〉

- ・ 「災害時の透析」と「人工腎臓と合併症β₂ミクログロブリンについて」医療講演会を開催予定。

〈夕 張〉

- ・ 地域の5施設との連携を取りながら活動を進める中、会員が増えている。

〈留 萌〉

- ・ 10月研修旅行実施。
- ・ 羽幌支部との懇談会実施。
- ・ 市立病院で透析中災害緊急時の離脱訓練（ビデオ放映、実技）。

〈小 清水〉

- ・ 小清水町からの補助金が毎年自動的に交付されるようになった。
- ・ 透析医師が、9月始めて

退職後、来年4月迄透析医師が不在で月2回大学の専門医が来てくれるが、心配である。

〈土 別〉

- ・ ふれあい広場in2005で腎提供者拡大キャンペーン。

〈三 笠〉

- ・ 10月に秋のレクリエーション日帰り旅行実施。

※ 各地域腎友会では、道腎協と連携して、「障害者自立支援法案（更生医療・育成医療含む）」に対して、地元選出の国会議員・道議会議員・衆参両院の厚生労働委員に見直し反対の要望書提出を、数度にわたり実施して頂きました。また、全道一斉腎提供者拡大街頭キャンペーンも各地域腎友会で実施されました。

(2) 「障害者自立支援法案」活動について

本道選出の国会議員や1

道腎協事務局活動報告

- 8月4日 全腎協診療報酬改定に対する実態調査票配布。
 7日 北海道難病連全道集會及び、道腎協分科会医療講演会「透析患者の災害対策」98名参加。
 10日 「障害者自立支援法案」廃案と今後の対応について、役員・地域腎友会に50通送付。
 11日 9月25日「全道一斉腎提供者拡大街頭キャンペーン」(以下、腎キャンペーン)の協力について、行政等9団体に挨拶廻り。
 16日 腎キャンペーン実行委員会。事務局だより発送。
 22日 腎キャンペーンポスター発送。
 30日 「自立支援法案」反対の要望書を参院厚生労働委員に提出するよう29地域腎友会に発送。衆院議員立候補者に「自立支援法案」に対する見解を求める活動を29地域腎友会に発送。DPI北海道ブロック会議の衆院立候補者に「自立支援法案」に対する質問と回答を運営委員・各地域腎友会に50通発送。
 9月1日 事務局打合せ。
 6日 機関紙ぜんじんきょう発送。
 7日 運営会議資料発送。
 8日 腎キャンペーンの宣材発送。
 9日 全腎協「家族の日」セット発送。
 13日 機関紙どうじん105号発送。
 14日 平成17年度第2回運営委員会。
 17・18日 腎キャンペーンの取材要請に報道機関廻り。
 20日 「全道一斉腎提供者拡大街頭キャンペーン」実施。
 25日 事務局だより発送。
 26日 「今月の情報」47通発送。
 27日 29地域腎友会に、地元選出国會議員・道議會議員と衆参両院の厚生労働委員全員に「自立支援法案」反対の要望活動お願い文書発送。
 30日 厚生労働大臣宛に「自立支援法案」反対の要望のハガキ・封書・FAX活動をお願いする、機関紙どうじん臨時号を全患者12,000人に配布。道腎協の役員にも人数を割り当て、衆参両院の厚生労働委員に要望活動要請。
 10月4日 道議會議員108名、北海道選出衆参國會議員28名、衆参厚生労働委員68名(委員長を除く)に「自立支援法案」反対要望書発送。ブロック会議資料発送。事務局打合せ。
 6日 ブロック会議。
 15日 役員研修会、両日出席者41名。
 16日 事務局だより発送。
 17日 国会請願署名用紙発送。
 20日 今月の情報発送。
 21日 機関紙「どうじん」校正。
 25日 ブロック会議報告・事務局だより発送。
 27日 ブロック会議報告書全腎協へ。難病連道への統一要望書発送。
 28日 活動状況報告書全腎協へ送付。
 11月4日 障害者自立支援法案の質問の御礼議員さんへ。実態調査書とフックレット、役員・地域腎友会へ発送。
 9日 機関紙ぜんじんきょう発送。

08名の道議會議員、衆参の厚生労働委員に対しての道腎協活動や各役員の活動が説明されました。
 しかし、残念ながらブロック会議の前日14日に参議院で可決されました。衆議院で可決されれば、平成18年4月より実施されます。
(3) 道との意見交換会について
 腎疾患総合対策の早期確立に対する5項目の要望事

項を提出する予定です。
(4) 平成17年度第1、2回運営会議報告
(5) 道腎協前期活動報告
(6) 道腎協前期会計報告
(7) 道腎協前期会計監査報告
(8) 役員研修会について
(9) 道腎協青年部について
 各地域腎友会にパンフレットを配布し、部員を募り、また各地域腎友会青年部を立ち上げて行く予定です。

(10) その他
 ・第29回道腎協定期総会札幌大会
 平成18年5月28日(日)予定。
 掛札副会長(釧路)の閉会挨拶で無事終了しました。
役員研修会
 10月16日(日)に「これからの社会保障について」という演題で(財)北海道難病連代表理事伊藤たてお氏を講師に招聘し

て実施しました。「これからの社会保障、特に医療においては自己負担が増え貧富の違いで医療・健康に格差が出て来るもの。」と、お話されています。(報告 堀井和彦)



「透析患者の災害対策」

「自分の身は自分で守る」

札幌北クリニック 院長 大 平 整 爾 先生



はそういうことだろうと思ひますが、透析を受けている方が災害時にどのように行動したら良いのかについて、お話をしたいと思います。

* 中外製薬様のご厚意で、講演会参加者全員にパンフレットが配布されました。

透析室トラスフルシリーズ5
第3部 「災害に負けない私たち」 透析患者さんの災害対策・学術VTRカラー21分有り（シリーズ総監修・大平整爾先生 企画・中外製薬 製作・桜映画社）

災害とは

災害には、地震・火事・水害・風害など色々なものがある

この講演は平成17年8月7日の第32回北海道難病連全道集会の腎臓部会で開催されたものです。

ります。地震は大抵の場合には火事を伴いますから、これが恐ろしい。(図1)阪神淡路大震災（H7年1月17日、午前5時46分）の時も地震によって多くの建造物が崩れましたが、朝食の支度時で火事がとても多かったことが災害を非常に大きくしました。被災した時に煙や有毒ガスが発生することもあるわけです。私は広島県で芸予地震（平成13年3月24日）があった時、丁度、そこに所用で行っていました。その時にある先生に会いましたら、「地震は上に行くほど揺れが大きくなるから、透析室というのは1階にあった

方が良いのではないか。」と、言っていました。ところが昨年、兵庫県で水害を受けた先生は、「1階だと水の害を受けるから2階の方が良いのではないか。」と、言っており、状況に応じて色々と違ってきます。

札幌の場合一番心配するのは地震です。今、私共の透析医会では、この地域の活断層がどの辺にあるかを頭に入れて、もし札幌に地震が起きた場合、どの地域が被災したら



図1 阪神大震災災害時写真

どのように対処するかという「シミュレーション」をしようとしております。記憶に新しい新潟県の中越沖地震（16年10月23日、午後5時56分）では、小千谷総合病院と小千谷総合病院付属十日町診療所

そして長岡中央病院で、合計336人の透析患者さんが自分の施設で透析を受けられな

くなりました。比較的早くに透析ができませんことが分かりましたので、その336人の

方々をどこの透析施設に受け入れてもらうかが検討されました。バスを使ってたくさん

の方々が幾つかに分散はしました。が、まとまって同一の受け入れ施設に移動し、被災を

受けた透析施設のナースやテクニシャンが透析患者さんと

一緒に行くことになり、事後の対応が非常に円滑にいった

と聞いております。それでも、体調の悪い方も出ますし、1

2時間とバスに乗りその道路の状態も良くないということもあって、やはり大変な苦労があったようです。

それでは、「災害に負けない私たち」のVTRをご覧ください。（VTR上映）

災害に備える

（図2）透析を受けておられる方々の立場から災害時に

どうしたら良いかという課題ですがこれは2つあり、①透析機関に患者さんが居る場合

と②居ない場合、が考えられます。透析施設に患者さんが

居る場合、透析中ということになり、透析中という状態に

なり、透析室の担当医師あるいは看護師の指示に従って

いただきます。それから、自宅あるいは外出中などで別な所に居る場合は、透析施設への連絡が大切です。

図2 透析者の立場からの災害時考慮事項

- | | |
|---|--|
| <p>1) 災害急性期の「災害情報の収集」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療機関に居る場合 ●医療機関に居ない場合（自宅、その他） <p>①連絡手段
（電話、ファックス、PCなど）</p> <p>②自分の状況の伝達
（自分の病院へ）</p> <p>③自分で積極的に情報を収集する
病院への交通機関の状況</p> <p>2) 災害時の患者カード
本当に必要か、最低限知っておく</p> | <p>べき治療条件
（ドライウエイト・血流量・透析時間など）</p> <p>3) 透析室での被災</p> <ul style="list-style-type: none"> ●血液透析からの離脱 ①火災 ②火災などによる有毒ガス ③津波 ④地震による建物の崩壊 ●離脱者の決定（主任医師） ●離脱の方法 緊急度 離脱に要する時間
針は残さない方法 |
|---|--|

連絡方法は電話・FAXなどですが、自宅の電話が使えらるのと良いのですが、公衆電話も機種により使えない場合があつたりします。電話が繋がりにくい時にも、透析施設の情報を知りたい場合や患者さん自身の情報を録音することのできるNTT災害用伝言ダイヤル・171番や、携帯電話でも同様なモード災害用伝言

サービス等も利用し、複数の方法で自分の現在の状態がどうなのかを伝える、またいつも透析を受けている病院がどういう状況なのかという情報を自分で積極的に調べることも大切です。中越沖地震の場合には、患者さんとなかなか連絡が取れず保健師の方々が避難場所を回り患者さんの安否を確認したということもあつたそうです。

災害時に「患者カード」や「保険証」は持っているに越したことはありませんが、緊急時、受け入れの透析施設で何が最低の情報として必要かといえ、まず、その時点の体重とドライウエイト（基礎体重）が必要でしょう。通常血流量とダイアライザーの種類、何時間透析をしているか、できれば「1時間に500cc位除水しても良いこれ以上除水すると血圧が下がる。」



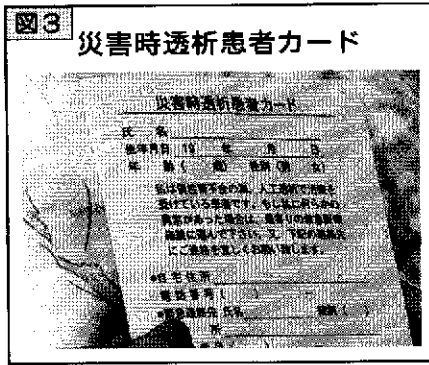
と、いうような時間当りの除水量の情報が正確であれば、すぐに透析ができます。災害時に色々な患者情報があつた方が良いですが、無くても私たちは何とか透析をやれると思います。また、皆さんの透析条件は時間が経つとかなり変わります。その変更を正しく記憶しておかなくては、有用な情報にはなりません。

透析施設において災害にあつた場合、今日ここに来られた方はお元気ですが、動けない患者さんをどのように援助・搬送するかを具体的に考えておく必要があります。

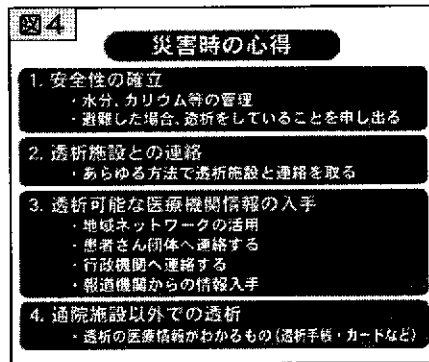
透析室で地震があつた時、透析を止めるか止めないか如何しようか、医師の責任が非常に大きく、私たちは大変迷います。例えば神戸市の申先生や岩手県の地ノ森クリニックスの木川田先生に聞くと、「その瞬間が一番責任を感じ迷つた。」と、言っておられました。どんな地震も大体1分間で止まりますが、一定期間後に余震があるのでそれも注意し対処しなければなりません。火事やそれによって有毒ガスが出る、建物が壊れてくるかもしれない。透析離脱はそこにいる主任医師が決めることになりませんが、遅すぎないように早過ぎないように適切な時期に判断することが重要になります。透析中に地震が起き

た場合、血液透析中の患者さんにとってシャントに穿刺している針をどうしたら良いかが最大の関心事だと思います。まず、①透析中に地震に襲われたら穿刺針が抜けないように血液回路をしっかり握る②ベットの一部分にしっかり掴まり、振り落とされないようにする③揺れが収まるまで起き上がらない・どんなに大きい地震でも1分程度④落下物の危険がある場合には毛布を被ることが非常に重要です。停電による返血方法には落差返血・バッテリーを使う・手動操作があり、勿論血の1滴も大切にするのが基本的な態度ですが、緊急時には返血をしていられない場合があります。透析緊急離脱時には、以前一般的だった方式は針は抜かず回路をクランプし、切つてグルグル巻きの包帯ということでした。しかし動いてい

るうちに血管の中の針が動き血管を損傷するのではないかと懸念から、最近では緊急時には返血はしないで抜針し、止血バンド等を使い圧迫し緊急非難してもらうことが一番良いのではないかと考えられています。動脈・静脈の回路を一旦クランプして切りそこをコネクターで繋ぎ、丁度外シャントのように血液を回しておくという方法の施設もありますが、よほど慣れないと時間が掛かりますから、原則的には抜針↓圧迫↓止血が緊急時に一番良いのではないかとなくなつてきているようです。どここの施設でも1回ぐらいこういう訓練をする訳ですが、施設によって透析室が何階にあるかで違い、災害時はエレベーターが使えないなど、状況で随分違つてくる訳です。やはり自施設での模擬訓練が必要となります。



(図3) 先程の災害時透析患者カードは勿論あったほうが良いです。しかし、実はカードは携帯していないことが多いようで、皆さんが災害時だけでなく外出時に具合が悪くなった時などに透析患者だということが分かるというのであり、外出時に常時携帯することにすれば災害時にも自然に身に付けているという習慣が付くのだらうと思います。私が思うには今はコンピューターの時代ですから、これの半分のものを電子カルテと

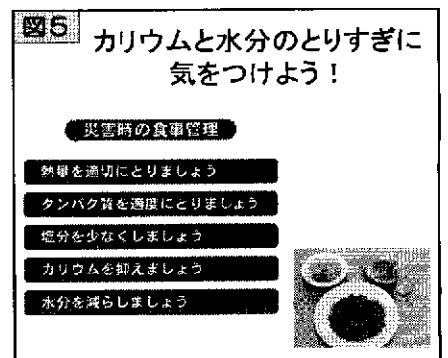


して情報を入れ毎月これを更新し、アメリカの兵隊さんの認識票のようにネットレスとしてかけておく、というような方法になれば非常にいいかもしれません。

災害時の心得

(図4) 私が室蘭日鋼記念病院にいた時、有珠山が噴火しました。洞爺湖のすぐ近くの洞爺協会病院ではまったく透析ができなくなり、透析患者20名くらいの内10名ほどの方々を室蘭日鋼記念病院でお

預かりしました。伊達赤十字病院は建物が崩壊し水が使えなくなつて透析患者さんがあちこちに移動しました。その時に困ったことがありました。何人かの私の知っている透析患者さんが洞爺湖の近くにくつかの避難所にいたのですが、降圧剤を飲んでいない人が薬を持っていなくて降圧剤を飲まないため2日位経つと非常に血圧が上がつたのでした。幸いに食事が取れずひもじい思いをするような人はいなかったけれど、配られたお弁当を食べると味が濃い、つまり塩辛いから口が渴いて水が飲みたくなり、これによつても血圧が上がりました。(図5)カリウム、塩分、水分の管理が大切です。透析が2日間空いた時に一番死亡率が高いという研究がありますが、通常は土日など2日間透析が無くて



も大丈夫なはずです。2日間は何とかもつ訳ですから、その間にしっかりと透析施設に連絡を取ることが大事です。皆さん自分の病院の電話番号を知っていますか？自分の病院の電話番号は知っておいてください。私のいる札幌北クリニックでは、病院・事務長・理事長・院長・医師までくらの電話番号を公開しており、どこかに繋がるようになっています。これは、実際に皆さんの施設で何月何日に災害が起きたという仮定のもとでシミュレーションしてみると良い

と思います。皆さんが全員病院に電話を入れたら、多分受け取る方はパンクしてしまいまずよね。しかし、これも訓練として行ってみる価値があります。FAX等色々な方法が考えられるのですが各施設での工夫も必要がありますし、北海道の透析医会でも今年中にやろうと思っています。それから、仲の良いお友達で曜日の同じ人や曜日の違う人少なくとも4人くらいを登録しておいて、「お互いに助け合いましよう。」という協力体制を取っておくとよからうと思います。これは災害の時だけではなく自分にかがかった時に助けとなり頼りになると思っています。地域ネットワークの活用も大切です。それから、日本透析医会では、東京都府中市の杉崎先生が中心となって情報のネットワークがあり、全国で400くらいの名簿が

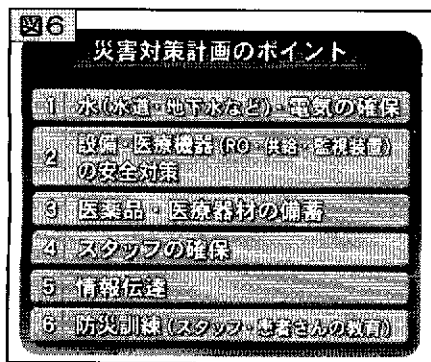
登録されています。被災を受けた場合の病院あるいはそれを聞きつけてくれた施設が日本透析医会にメールを送ってくるのです。そうすると私たちもリアルタイムでそれを見ることができません。どこの病院が透析できなくなって何人の患者さんの受け取りを希望していると分かる訳です。そうするとそれに対して、それを見た近隣の病院が「自分のところで12人だったら受け入れられる。但し、ナースとテクニシャン2人ずつつけてくれ。」と、通信できるようなネットワークができています。この前の九州や新潟の地震の時にそれが非常に有効に作動しました。それで患者さんの団体に連絡する方法も考えています。腎友会も一種のネットワークを持っていてと思いますが、それを利用させていただくことも考えられます。そ

れから、行政機関に連絡する、報道機関は非常に緊密なネットワークをもっていますからそこから情報入手することも必要です。中越沖地震の時は新潟市と新潟県が非常に上手に連携したそうですが、それも我々は学ばなければいけません。札幌市で災害があった時には、札幌市透析医会(会長 中野医院中野幸雄先生)と北海道透析医会では私が会長ですので、行政(札幌市や道庁)とも情報をやり取りし報道機関からも情報が入りますし、メーリングリストに各施設で色々な情報をここに登録してもらおうと、私たちとしては情報を持っていますから、どのようにしたらいいかを患者さんに聞かれた場合には、あなたの場合にはどこに行きなさいと言えることとなります。それから、繰り返しですがシャントのこと、常用薬

剤や自分の透析条件などを頭に入れておくことが大切です。

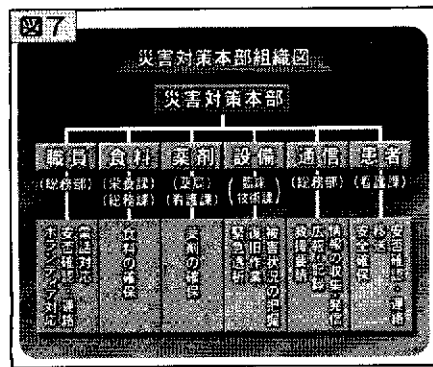
災害対策計画のポイント

(図6) 血液透析では水と電気の確保が必要です。これはもう、個人的な努力のみでは出来ない訳です。阪神大震災の時には、神戸には灘の生一本と言いい美味しい日本酒を作る非常に良い水が出るところがあり、水をタンクローリーで運んだりする施設がたくさんあって随分活用されたということ。各施設で何が必



要なのかということを行政に言わなければなりません。北海道では、浦河が非常に地震の多いところです。現在は東京都府中市のクリニックに勤務されていてかつて浦河赤字病院に勤務していた赤塚先生は災害関連のことを一生懸命されており、行政や自衛隊の協力のことなどを含め具体的によく知っていらつしやいます。赤塚先生の経験を読むと、行政に水が必要と欲して、依頼に行くのは勿論、水が欲しいということをあちこちに要請する必要性を述べておられます。医薬品や医療機器の会社では、医薬品・ダイアラザー・腹膜透析をしている方の透析液等も、どこに何がどの位あるか解っています。スタッフの確保、これはなかなか難しいところです。阪神淡路大震災が発生した時に、その頃、私と親交がある医師

の15人の内、病院に行けたのは5人しかいませんでした。行こうと思つたが交通機関が無くて行けない、それから何とか車があつて行けたのだけれども途中で道路がだめになっていた。また自分の隣の家が潰れてうなり声が聞こえて、その人を黙ってはとてども自分の病院には出向けなかつたという人もいました。ですから、病院が無事でスタッフは何とか病院に行こうとしても、100%のスタッフを確保出来ないという可能性もあります。私は札幌北クリニクまで平常時には車で行くところまで平常時には車で行くところまで20分くらい、地下鉄で行くと30分くらいで行きます。どこかで滞ると、タクシーは考えられませんがやはり歩くか自転車かと色々な状況を考えております。それから情報伝達ですが、備え付けの電話にFAXも付けておくなど、情報



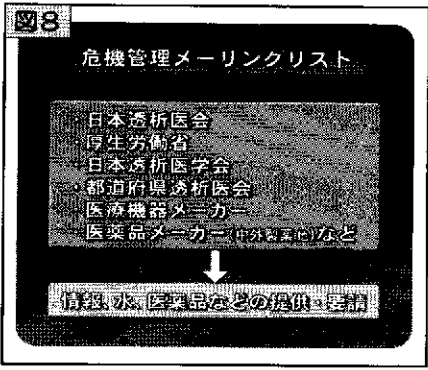
の受け取り方それから発信の仕方色々あることが望ましいでしょう。防災訓練も必ずやってみる必要があります。(図7)また、災害時にはこういう組織的な災害対策本部が必要で。そうすると、災害時になるべく正常な医療活動ができるように皆で努力できる訳ですが、やはり災害対策本部で全体を見渡し取り仕切るような責任と権力を持つリーダーが一人必要です。患者さんの防災教育としては、私どもは色々な所の協力

を得てパンフレットを配布しております。しっかりお読み下さい。また、病院や透析施設が防災訓練をするといったら、ばかばかしいと思わず実施に参加していただきたいと思ひます。それから災害時に「もしも、こんなことが起きたらどうするか。」という話を皆さんでなさることが役に立ちます。私が紅顔の美少年だった(?)中学2年生の時に釧路沖地震というのがありました。あれは冬で、中学校の2階の校舎にいてグラグラと来たわけです。グラウンドに避難したところ、校長先生の「石炭ストーブをちゃんと始末してきたか。」との言葉で、私は担任の教師と級友3人でストーブの火を消しに行きました。でも、火を消すつてことはないのになに簡単なことではないのですね。ストーブの脇にあった水をエイヤッとその石炭

ストーブにかけましたら鉄のストーブが割れて、火のついた石炭がワツと床に散らばって、今度はその辺に火がついて大変でした。水をかけると石炭ストーブが壊れるということがそれで分かりました。地震の時火をどう処理するかを常に考えておくことが大切です。一種の危機管理にもなりますから、日常会話の話題で、こういう場合にはどうしようか、私はこんな経験があったとか、色々な事を話しておくと思いいます。また、普段からの自己管理が基本です。これに関わることで、透析施設への移動の輸送費などは災害救助法が適用されさまざまな援助がありますので、皆さんあまり心配なさらないですむようです。

(図8) それぞれの機関に

危機管理メーリングリストがありまして、先程もお話しましたが、日本透析医会では災



害委員会というのがメーリングリストを持っており厚生労働省・透析医学会・各都道府県の透析医会と情報交換しています。ですから、私たち医療側としては、何かあった時に情報を持ちお互いに助け合おうという方法を少しずつ確立しつつあります。個々の透析施設が担当している患者さんたちの情報というのは、それはその各透析施設が自分の努力で集めないといけないことになりまして、皆さん自分の病院や透析施設はどうなっ

**災害時に対する
平常時の心得**

ているのかというのを、院長や理事長にお聞きになってください。そして何とか水が確保できるように電気が確保できるように、私たちは努力していきたいと思います。水が無ければあるいは電気が無ければ、現在の血液透析は出来ない訳ですけど、行政としてもそれらは日常生活の基本になりますから、その第一選択をそして第二選択をどこにするかはなかなか難しいようです。しかし、日頃から血液透析は水が無くてはできず、腎臓の悪い方の場合それが命に直結するのだということを経々々説明して重要性を行政に分かってもらう努力を続けたいと考えております。

(図9) この7項目は、も

う一度よく記憶に留めて下さ

- 図9 災害時に対する平常時の心得**
1. 安全の確保「自分の身の安全は、自ら守る」
 2. 普段から地域との交流を保つ
 3. 行政の災害対策の把握
 4. 各施設の「防災の手引き」などを把握
 5. 通院・移動手段の検討
 6. 「代替透析医療機関」の把握
 7. 家族との意思疎通

い。隣・近所と交流を保ち自分が透析をしていることを理解してくれる人を持つこと・災害時の通院手段を考えておく・家族と良く災害時について話しておくことなども大切だと思えます。また、行政の災害対策を把握しておく。必要な事項は医療側からも要請はしますが、皆さんから必要であれば要請することです。行政、札幌市・北海道の対策を皆さんの目からも見ておく必要があります。(図10) 非常持ち出しはここにある通りで

図11

薬を忘れずに



す。しかし、懐中電灯などは実際にそれが点くかどうか、所定のところにあるかどうかを確かめましょう。災害時にはこの他、怪我をしないために靴を

図10



大平整雨先生 略歴

- 1937年12月9日生まれ
- 1962年 北大医学部卒業
- 1963年 東京都立川市米国空軍病院インターン終了
- 1967年 北大医学部大学院終了、同年、医学博士号授与
- 1969-1971年 カナダ・トロント大学生理学部研究員
- 1972-1997年 岩見沢市立総合病院外科・透析センター勤務
- 1997-2002年 医療法人社団カレスアライアンス日鋼記念病院院長
- 2002年4月～現在 医療法人恵水会 札幌北クリニック院長
- 1988年 「慢性腎不全の研究・治療」に対して、北海道知事賞・北海道医師会賞授与
- 「専門分野」：胸部・腹部外科、腎不全外科、透析療法一般、医療倫理
- 「所属学会」：外科学会、日本透析医学会、人工臓器学会、医工学治療学会、腎臓学会、腹膜透析研究会、サイコネフロロジー研究会、腎不全外科研究会、アクセス研究会、消化器外科学会、急性血液浄化学会など。

現在の役職

- 日本透析医学会：倫理委員、学術委員、理事長（2002-2002年）、名誉会員
- 日本透析医会：常任理事（副会長）、日本腎臓財団：常任理事
- 腹膜透析研究会：顧問、アクセス研究会：幹事
- サイコネフロロジー研究会：幹事、腎不全外科研究会：幹事
- 急性血液浄化学会：名誉会員、臨床透析

編集員

- 北海道透析医会：会長
- 北海道透析療法学会：会長(1993-2005)、北海道高齢者透析研究会：会長
- 北海道透析骨・関節障害談話会：会長、北海道大学医学部：客員教授

主要著書

- 透析患者の手術2003(編著)：臨床透析 2003VOL.19 No.7
- 透析医療におけるリスクマネジメントの実践(編著)：臨床透析 2002VOL.18 No.7
- 透析導入：最近の実態とあり方(編著)：臨床透析 2001VOL.17 No.7
- 透析療法：インフォームド Consentのための図説シリーズ(改訂版)：医薬ジャーナル社、2005
- 透析中止のガイドラインー不可避だが苦渋のジレンマ：日透医誌 2000；15(1)：11-11
- 透析医療における生命倫理：透析会誌 2004；37(10)：1837-1846
- 透析に導入しないという選択と透析を中断するという選択：臨床透析 2004；20(7)：795-800
- 自己動静脈使用内シャント(AVF)におけるPrimary Failureの検討：透析会誌 2004；37(11)：1959-1966
- 透析療法の基本と実際：中外医学社、1998
- 事例に学ぶ透析看護(基礎編・応用編)(編著)：日本メディカルセンター、2004
- 腎不全とともに歩んでー透析医療の常識・非常識(編著)：日本メディカルセンター、2004
- 血液透析施行時のトラブル・マニュアル(編著)：日本メディカルセンター、2001

はくことが大事です。(図11) これらの薬は特に忘れないで持てれば一番よいと思います。では最後になりますますが、今

自分ももし自分の透析室にいる時グラグラッときたらどうするか、自宅でそうなった時にどうするか、それから自分の家でもない透析時でもない、

たとえば丸井デパートの3階あるいは大通公園にいた時にどうするかということを、状況を覚えて皆さんそれぞれに考えてみるとよいと思います。

各地域腎友会事務局長コーナー

腎友会活動と課題

北見地方腎友会事務局長 浅見 恭行

現在、北見地方腎友会は、107名の会員で、北見市6施設、美幌町1施設の計7施設で構成されています。年間行事は春の日帰り旅行(花見)9月の北見市ふれあい広場の参加、健康まつりの参加、秋の一泊旅行と年間5〜6回発行の腎友会だより等があります。

私が北見地方腎友会事務局長として活動を始めて1年半が過ぎました。その間、会長(前事務局長)が亡くなり、頼りにしていた副会長が脱会と色々ありました。4月から新役員体制のもと活動しています。道腎協の役員の方や地方腎友会の役員の方々からの

助言や励ましを頂き心から感謝申し上げます。北見地方腎友会の近年の活動による主な成果として、今年4月から北見市の障害者に対する交通費助成制度のハイヤーチケットが腎臓障害の方のみ、年間15枚の加算となりました。

また、11月には、北見市長、

市議会議長に対し要望書を提出致しました。内容は「現在、

障害者に対して、ハイヤーチケット(初乗り分)を配布して頂いていますが障害者の中には、

自家用車や家族の車を利用して

いる者が大勢いてハイヤーチケットが無駄になってしま

います。そこでハイヤー

チケットとガソリンチケット(ハイヤー初乗り分相当)のどちらかを選択出来るようにして下さい。」と、言う内容です。

課題としては、他の腎友会も同じ問題だと思いますが、やっぱり会員数を増やす事だと思えます。特に北見は入会率が低く、なかなか患者さんに理解して頂けません。北見地方腎友会独自の新しい「入会のしおり」を製作して各施設の幹事さんをお願いしてい

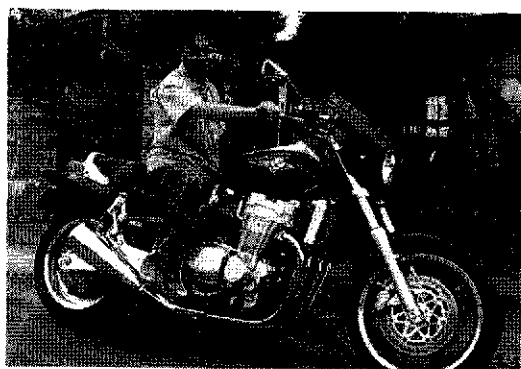
ます。しかし、幹事さんの中には「うまく説明出来ない。」

「うまく返答出来ない。」と、言う意見があります。そこで

道腎協にお願いですが、各施設の幹事さんに対して勧誘のためのマニュアルを作って頂けないでしょうか。また、年間の行事も参加者が同じメンバーになってしまいます。本人の体調、都合もあります。情報交換の場としてもっと積極的に参加してほしいと思います。

私ごとですが透析をしながら仕事と腎友会の仕事を両立するのはなかなか難しく、仕事が多々あり、会報の情報が少々遅れるなど会員の皆様には申し訳なく思っております。

最後に医療講演や学習会を開催し、会員の皆様の健康維持につながる様な行動を検討して行きたいと思っております。



運営委員

山谷 眞幸



11月に入り朝夕一段と寒さが増してまいりました。私は透析を始めて8年目になります。平成5年頃から時々鼻血が出るようになり、総合病院を受診しましたら高血圧と診断され降圧剤を服用するようになりまして。3年目の12月頃より下半身にむくみが出始め体が何となくだるさを感じるように担当の先生に検査をしてもらい、腎臓がかなり悪いと言われ即入院になり

ました。3ヶ月たち、クレアチニンが5・5mg/dlになり退院に当り先生から「この病気は食事に気を付けてください。」とお話しがありました。平成10年3月に透析導入になり5月に総合病院から退院と同時に自宅近くの病院に移り今日に到っております。導入後1年近くは、急激な血圧低下や物を吐いたりを繰り返し大変な通院でした。この様な状態ですの自宅よりあまり外に出ず、テレビの番人の生活を2年近く過ごしました。

任看護師さんは我々患者の病気に対して心配りとの確なアドバイスをしてくださり、心強く思っております。私も何とか患者さんのお手伝いができるかと思っております。所、我々患者会の機関紙「ぜんじんきょう」及び「どうじん」を読むようになり、透析に対するさまざまな方の体験談を拝読し、また、各地域の先生方の講演会内容の掲載では腎不全患者の生活の仕方や永年透析を継続する為の注意など、参考にしており、次号を楽しみにしておるところです。

患者自己負担を実施しております。それに伴い、我々は昨年「更生医療」を選択しましたが、それも国の財政圧縮の為「障害者自立支援法」の名のもと改悪されようとしております。ある国会議員は「障害者の中でも特に透析患者は高額な国費負担があり、来年はこの件を何とかしなければならぬ。」と、発言しております。我々の先人が汗と努力により今日の透析患者の医療費の助成制度を確立してまいりました。我々は簡単にその「改悪」を許してはなりません。患者会は今一層に団結して、この案件に全力で取り組んでいかなければなりません!! 患者及び御家族の皆さま方と共に国や道に対して声を上げて行こうじゃないですか!!

第25回 腎提供者拡大街頭キャンペーン



〈札幌〉

北海道腎臓病患者連絡協議会と札幌腎臓病患者友の会合同の腎提供者拡大街頭キャンペーンが大通り西3丁目・4丁目を中心に、道庁、市役所、北海道腎臓バンク、市立札幌病院、北海道移植者協議会、札幌スノーライオンズクラブ、札幌エルムライオンズクラブ、北海道難病連、8団体と私たち患者と家族など63名の参加によって実施されました。当日は、天候に恵まれ用意した3,000枚の意思表示カード・ティッシュは40分程で配布できました。

〈札幌腎臓病患者友の会〉

平成9年10月の「臓器移植法」の施行から8年。脳死での臓器提供は現在まで全国で40例、これまで150名の患者が移植を受けました。北海道でも脳死での臓器提供があり、9月に2名の方が腎移植を、10月には静岡県の提供者の方から道内初の脾臓・腎臓同時移植を1名の方が受けましたが、脳死での臓器移植はなかなか進まない状況です。毎年10月を国が臓器移植推進月間に定めています。北海道では全国に先がけ、9月25日(日)とその他の各地の健康まつり等に協賛し、全道24カ所・約320名の参加で献腎への理解と協力を訴えました。

翌日にはキャンペーンの模様が道新にカラーで掲載されるなど主たる目的の啓発活動は達成できました。このキャンペーンも回を重ね25回となり、その成果とし国民の9割が脳死移植を認知し1割弱がカードを所持しています。しかし移植が進まない現状を考えた場合、国民の合意を目指して運動の質、量とも拡大して取り組まなければなりません。今までたくさんの方の協力でここまで来ました。関係者の方々にはこの場をお借りして感謝申し上げます。

(報告 川村 隆志)

〈釧路地方腎友会〉

ジャスコ釧路店にて約1時間、パンフレット・意思表示カード・ティッシュを買い物客に手渡し協力をお願いした。



腎臓移植推進を街頭でアピール
 腎臓病患者友の会
 代表理事 王貞典
 代表理事 藤田 隆
 キャンペーンを企画
 たいして、買物客に
 意思表示カード、ティッシュを
 配布した。
 5分ほどで約100枚の
 意思表示カード、ティッシュを
 配布した。この日は、朝から
 雨が降る中、多くの買物客が
 参加した。この日は、朝から
 雨が降る中、多くの買物客が
 参加した。この日は、朝から
 雨が降る中、多くの買物客が
 参加した。

〈釧路〉道新 9月30日付



〈釧路〉

北海道新聞社と釧路新聞社の2社から取材を受け、取材記者には当キャンペーンの主旨、臓器移植に関わる道内の様子、障害者自立支援法案の再提出の件について説明をし、報道協力をお願いした。釧路新聞は9月27日に北海道新聞は9月30日に掲載され、我々の活動が少しは認められたという思いで一杯です。

(報告 栗山 尚倫)

〈江別腎臓病患者会〉

ポスフル江別店にて、16名で黄色のジャンパーを着用し、風船とともにチラシ・意思表示カードを配り腎提供を市民に呼びかけました。



〈江別〉

〈留萌地方水無人腎友会〉

10月15日(土)留萌市立病院で開かれたフェスティバルにてキャンペーンを行った。病院側の協力を得て準備から実施



〈留萌〉

までスムーズにいき、フェスティバルのおかげもあり参加者が多数集まった。また、日刊と留萌新聞に報道された。

(報告 浦田 光男)

〈オホーツク腎友会〉

網走エコセンターで開催された「ふれ愛ひろば2005網走」に協賛し、チラシ・意思表示カード1,000枚づつ配布し、風船・尿試験紙



〈オホーツク〉

も配布した。ドナー登録コーナーを設置。また、腎友会独自の募金活動をし、全額を主催である網走市の社会福祉協議会に寄付した。市の社会福祉協議会が主催で全市民を対象としてエコセンター全館貸切であったため、当腎友会のアピール度は高いと思われる。

(報告 村田 豊)

〈小清水腎友会〉

今年は、「斜里町ふれあい広場」・「小清水故郷祭」・「小清水町ふれあい広場」の3ヶ所でキャンペーンを行いました。どの会場も皆さんとても関心を持ってチラシを受け取ってくれました。また、花火販売も行い募金箱もおき、どちらも皆さんにご協力いただきました。(報告 鈴木 和子)

〈苫小牧腎友会〉

JR苫小牧駅北口にて、患者・家族そして苫小牧ライオンスクラブのご協力を得て、チラシ・パンフレット・意思表示カードをティッシュ・風船とともに38名で配布し、キャンペーンを実施した。意思表示カードを900枚配布したが、常時携帯率が少しも上がることを願っている。

(報告 河内 英樹)

〈旭川地方腎友会〉

今年も買い物公園そして旭川障害者連絡協議会「おびつたまつり」・旭川木工センター「パークゴルフ大会」・常盤通り商店会「ザ・BONおどり」において、意思表示カード2、800枚を配布した。街頭で配る風船は相変わらず人気が高い。(報告 小平 敬明)

〈静内腎友会〉

静仁会静内病院第13回病院祭に協賛してキャンペーンを実施しました。

(報告 橋本 和弘)

〈腎友会滝川クリニック

透析者の会〉

「第21回滝川市市民健康祭」に協賛して意思表示カード450枚を配布しキャンペーンを行いました。イベント総参加人数1,000名、協賛団



〈滝川〉

体18団体でした。

(報告 小林 一幸)

〈十勝地方腎友会〉

ポスフル店内、外に於いてキャンペーンが実施され会員・家族17名が参加しました。風船・ティッシュペーパー・パンフレット・意思表示カードを一人一人に手渡し、脳死移植に対する理解と意思表示カードの記入携帯を呼びかけ

ました。(店内4ヶ所の出入口で実施)

また、当日は帯広東内科循環器科クリニックスタッフの皆様協力をいただき血圧測定や健康相談等も合わせて実施しました。

翌日には十勝毎日新聞にこの活動の様子が掲載され、啓発活動としての目的は十分に達成できたのではないかと思います。

(報告 小笠原 和枝)

〈夕張腎臓病友の会〉

午前10時より、夕張石炭の歴史村において会員・家族・透析スタッフのご協力で意思表示カード・パンフレット・ティッシュ・キャンデー等を配布しました。当日は秋晴れの天候に恵まれ歴史村には家族連れの見光客が多く、たいへん良いキャンペーンとなりました。(報告 渡辺 寿幸)



〈夕張〉

〈道南腎臓病患者連絡協議会〉

10月8日(土)・9日(日)の両日、函館市総合保健センターで行われた「健康まつり」に協賛して腎臓キャンペーンを行いました。

当日は曇り空で、時折小雨が降るあいにくの天候でしたが、昼頃には雨もあがり来場者が2,100人との情報でした。9時30分から2時30分まで、意思表示カードとパンフレット・ティッシュ・風船

等を配布。ある役員の方は、パンフレットを渡すとその場で見もせず袋の中にしまい込む方が多く、「臓器移植への住民の関心が薄いこと」を肌で感じたそうです。

意思表示カードとパンフレット・ティッシュ等は、両日で1,200枚配布するも、意思表示カード配布活動そのものに行き詰まりが見えてきたように思えてなりません。

(報告 筒井 紀昭)



〈道南〉

〈小樽後志地方腎友会〉

8月27日(土)都通リアーケード街にて会員16名の協力で、今年是小樽市主催の「ほほえみフェスタ'05」に参加してのキャンペーンを行いました。

駅前という事で人通りも多く、大変なにぎわいの中、意思表示カード・パンフレット・ティッシュ・風船・キャンデー等を1時間ほどで全部渡し終えました。

臓器提供意思表示カードは

最近ではコンビニやスーパー等でも良く見かけるせいか、興味のある方がけっこう多くなつて来ています。これからも少しでも多くの方に理解して頂けたらと思います。

(報告 本間 理恵)

〈北見地方腎友会〉

9月3日(土)・4日(日)、市総合福祉会館にて市民が障害や

世代を越え交流する「第23回北見市ふれあい広場」を福祉関係69団体が参加して開催。

北見地方腎友会では、ポップコーンと野菜の販売そして、腎臓キャンペーンも同時に行った。また、25日はポスフル前にてチラシ・意思表示カード・ティッシュ・風船等を配布しながら、街頭キャンペーンを行い、市民に臓器移植への理解と協力を呼びかけた。

(報告 浅見 恭行)



〈北見〉

〈岩見沢市立病院腎友会〉

9月18日(日)に西友と内部の棚前の2ヶ所で行いました。キャンペーンは前日から雨が降り心配しましたが、当日は配布をする直前に天気の方も良くなりました。

反省する点もありましたが、ほとんどの人は無視せず受け取ってくれてとてもうれしく思いました。

(報告 立花 つるえ)



〈岩見沢〉

〈室蘭地方腎友会〉

前日の雨も晴れ上がり最高の天気に恵まれ9月11日(日)、第17回室蘭市主催ふれあいまつりを会場に、私たち腎友会も例年通り会員・家族を中心にキャンペーンを実施しました。毎年ボランティアで参加してくれる福祉専門学生さんの出席が今年は得られず誠に残念。それでも、会員・家族



〈室蘭〉

13名と出席者の少ない人数で、意思表示カード・パンフレット・ティンシユ各々300セットを市民の方々に配布することができました。

毎回、キャンペーンを実施して感じて感ずることは私たち患者、すなわち移植を受ける側の熱意が市民の方々に「どの程度理解されているのか、

訴える何が足りないのか。」という事です。今回もそのことが強く感じられました。今後の課題として市政だより・

地方広報紙・新聞等に臓器移植キャンペーンの実施活動を事前にPRすべきだったと多に反省しているところです。

(報告 合田 晃)

「ドナーに感謝」

腎臓

移植を受けた男性退院

北大病院

北大病院(札幌市北区)で十月、脳死患者からの道内初の臓臓・腎臓同時移植手術を受けた四十代の男性が十四日午後、退院した。男性は医師団とともに記者会見し、「ドナーと家族の皆さんに感謝でいっぱいです」と喜びを語った。

男性は、静岡県内の病院で脳死判定を受けた女性の臓器を十月十四日に移植された。十代でインスリンを作る細胞が壊れる「1型糖尿病」にかかるといって、二十代から人工透析を受けていた。

手術後、熱の出た時期はあったが、臓臓、腎臓の機能は良くなった」と説明。男性は今後、リハビリを行う予定で、「頂いた臓臓、腎臓を無駄にせず、毎日を有意義に過ごしたい。同じ病で悩む人が多く(移植の)環境が整ってほしい」と、ドナー登録を呼びかけた。

同病院でこの男性と同じ女性から肝臓移植手術を受けた五十代の女性は、十月に退院している。

道新 11月15日付

各地のたより

〈苦小牧〉

雨天決行

サクランボ狩り

7月10日(日)壮瞥村にサクランボ狩を実施しました。参加者は家族5名を含む29名でした。

週間予報では、晴れで安心



していたら、前日になって一日雨の予報です。完全武装で集合場所に行くのと、他の皆さんも完全武装で雨の中待っていました。人数確認と会長の挨拶の後、雨の中を支笏湖経由で出発しました。

雨に洗われた色鮮やかな緑のトンネルを20分も走ると丸山遠見、ここから車窓の風景が一変しました。昨秋の台風被害による風倒木です。道端にうず高く積まれた丸太の山と、それらを処理する重機の数々。道端をほんの少し片付けた状態で放置され、台風被害の大きさを痛感しました。支笏湖を右に見ながら走り、長いトンネルを抜けると美笹峠展望台です。一面の樹海が谷底深く広がっています。更にトンネルを抜けると、道の駅クレスト207大滝です。キノコの郷としても有名で全道各地から沢山の自家用車が

集まっています。

北湯沢に入ると路面が乾燥しており、雨が降っていないようで、皆さんラッキーと大喜び。10時過ぎ阿野果樹園に到着。勝手知った皆さんは早速サクランボ農園に入っていました。真つ赤な佐藤錦と南陽が美味しそうに葉陰から顔を覗かせています。一時間後、採ったサクランボを精算してお土産にすると、係りの方が、「イチゴも自由に食べていいよ」というので、近くのイチゴ畑で思い思いに味見をしました。

食事の後は洞爺湖での湖上遊覧です。遊覧船に乗り中島まで20分の船旅を楽しみました。波も静かで遠く湖畔の景色や有珠山、羊蹄山を眺めていると、心が洗われるようです。帰途では大滝から白老方向に進路をとり三階の滝で小休止して一路苦小牧に向かいま

す。雨が一段と激しくなり、山頂付近はガスがかかって周囲の樹海が墨絵のように幻想的に見えました。雨の中を苦小牧には4時過ぎに無事到着です。参加者の皆さん本当にお疲れさまでした。

(報告 河内 英樹)

表紙の写真

題「石狩燈台の夕景」

撮影者 佐藤 功 氏

とある夕刻、事務局で帰り仕度をしていると、ヒョッコリ顔を出したK氏が、「石狩燈台の夕景が綺麗だとヨ。」と、宣った。「まだ間に合うべえ。」と、押取刀おとりがたなで駆つけて、友の肩を三脚替りにパチリと一枚。

「地域福祉を考える」

山谷 直生（札幌）



使えるとは限りません。透析患者の方の中にも、高齢による聴力低下やさまざまな原因で難聴の方がおられることとされます。

＊要約筆記とは

- ①聴覚障害者主に人生の途中で聴覚を失った人（中途難聴者）の為にコミュニケーション手段の一つで、話し言葉を文字で伝える方法。
- ②文字を介した同時通訳と考えられ、記録やメモではない。
- ③話を聞きながら、テーマに沿うように話の要点を集約し、リアルタイムに文字にしていく作業。

札幌市では、中途失聴または難聴の方の為に生命・健康・権利・教育・保育・職業・住居に関する事を対象に、要約

現在、私は毎週火曜日、札幌市要約筆記奉仕員養成講座を受講しております。多分、要約筆記と聞いても、何の事かわからない方が大半だと思います。要約筆記というのは、聴覚に障害のある方に対して、話した内容を同時進行で文字にして伝えるものではないか。と、思われますが、中途難聴者などは全員が手話を

筆記奉仕員を派遣するサービスが行われています。

私は今年9月から、「札幌市福祉のまちづくり推進会議」の委員として、障害者や高齢者を含めすべての市民が住みよい街づくりについて考えていく活動を行っております。

きつと、皆さまの中からも街の施設や設備について、「こうしたら良いのではないか。」という意見があれば言っていただと、街づくりの参考として考えさせていただきます。

また、ソーシャルワーカーとして皆さまの力になればと、考えております。

介護や社会保障に関する事など、知りたい事、聞いてみたい事などがありましたら、どうぞお気軽にお聞きください。

〈引用文献〉

「平成17年度 札幌市要約筆記奉仕員養成講座テキスト」
P3、3行～14行

〈参考文献〉

「障がいのある方のための福祉ガイド2005」 平成17年9月1日発行

■道腎協青年部第8回交流会ご案内■

開催日時：平成18年1月21日(土)～22日(日)
 内 容：1/21(土) 北海道難病センター交流会・ミーティング
 札幌市中央区南4西10
 1/22(日) 札幌市防災センター災害対策勉強会（見学・意見交換会）
 参加費：宿泊2,500円 日帰り500円（両日参加1,000円）
 申込〆切：平成17年12月20日(火)
 申込方法：道腎協青年部 吉田までお申し込みください
 TEL・FAX (011) 747-0217

結成以来30年も続いている「新一サークル」の旅行会が、紅葉には今一早かった10月初旬、メンバー8名全員の参加で秋の定山溪へと向かった。

道内では珍しい民芸調の宿「田舎風」にこだわって決して派手さや立派さはないが、手作りの味と心からのサービスで居心地のよい時間を提供します
旨イン

ターネットで紹介しているとおり、ぬくもりの宿○○○は本当に素敵な落ち着いた宿だった。取り分け夕食の膳は最高で椅子席の別コーナーに格子戸で仕切られた雰囲気のあるテーブル。5時40分いよいよ食事開始、夕陽に映える紅葉の頃、実りの秋のお献立と洒落たお品書きを眺めながら担当の女性より一通り料理の説明

を受け、食前酒に始まり先付前菜、御造り、焼物等途中何度もお腹一杯と言いつつ、最後のデザートまでしっかり食べ大満足のディナーだった。

また部屋へ戻ると10畳2間続きの和室に8名分の布団がブラーツと並べて敷いてあり、誰彼ともなく修学旅行みたい！枕投げでもしようか等
好き勝手な言動に

一同大笑い。暫くの後、思い思いの寝場所を決め漸く温泉に入る準備にとりかかった。泉質はNa塩化物泉でオフロそのものは決して広い方ではなくこぢんまりとしているが、お湯は本当に肌を優しく良く温まり、中が薄暗いせいか夜中のせいかな一人ゆっくり温泉を堪能出来たのは久しぶりだった。
(久原)

事務局通信

お知らせ

◎第60回全腎協北海道ブロック会議

ク会議

日時 平成18年4月15日(土)

16日(日)、午後3時より

場所 ホテル札幌会館

札幌市北区北17条西

4丁目

◎第29回道腎協定期総会

札幌にて開催されます。

日時 平成18年5月28日(日)

場所 ホテルユニオン

札幌市中央区南3条

西12丁目

◎全腎協の災害手帳について

各地域腎友会の新入会員

の方に差し上げています。

道腎協事務局までご連絡下

さい。

編集後記

◆最近、医療にも効率化や資本主義を導入してはどうかと議論されています。公的保険で受けられる医療と、後は、自己負担にしましよと論議されています。実施されると、自己負担を補う為に民間保険に加入する人が増えるでしょう。民間保険の場合、受診する病院や検査も限定されるでしょう。貧富の差が「健康格差」に成りかねません。皆さん、どうか常に現実を直視して沢山の力で活動して行きましょう。決まってからでは遅いのです。
(和)

◎「安心して透析を受けられる医療制度改革を求める請願書」(全腎協の署名にご協力下さい。今後の透析の医療保険制度にとって大切な署名です。平成18年2月23日(休)に国会請願行動を行います。

快適な透析生活をサポートします

不足しがちな栄養成分の補給に!

割引ポイント2倍セール実施中

通常5%
-2倍 **10%** 割引
ポイント付

次のご購入からご利用できます
平成18年1月1日~平成18年2月28日まで

特別セール
実施中

エルピス

こんなことが気になる方

- 疲れやすい
- 透析後の倦怠感
- 透析後半の血圧低下
- 貧血 気味
- 心臓機能の低下
- 手足のケイレン

これらの症状の原因には、必要な栄養成分の不足が関係しています。

配合栄養成分 (1本50mlあたり)

L-カルニチン	270mg	ルチン	50mg
L-アルギニン	100mg	ビタミンB群 (B1, B2, B6, ナイアシン, 葉酸)	35.2mg
アスパラギン酸、 リジン、ロイシン、 バリン、イソロイシン	200mg	鉄	4.6mg



1本50ml

発売元: エルピス株式会社
製造元: 中外医薬生産(株)

エルピス 販売価格

1箱 (50本入) ⇒ **10,500円** (送料別)

お試し用(10本入) ⇒ **2,490円** (送料別)

(内訳) 商品代2,000円・送料380円・消費税110円
エルピス瓶より日遊ベリカン瓶でお届けします。

ご購入・お問い合わせは

株式会社エルピス

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目18番27号

TEL 0120-393-578

(受付) 平日9:00~18:00、土・日・祝休業

FAX 06-4809-5575 (24時間受付)

E-MAIL elpis@joy.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.12.ocn.ne.jp/~elpis/

透析専門医の協力を得て
開発された栄養ドリンクです。

○足のケイレン(ふくらはぎの硬直)には、ほんとによく効くね。以前にケイレンが出なくなったので2週間ほど飲むのを止めていたら、またケイレンが出るようになった。再度続けて飲んだらケイレンが止まったので、効果は証明済みだよ。友達にも紹介したら、案になったと言っていたよ。

香川県 63歳 男性 透析歴12年

○以前は透析から帰っても倦怠感がひどく、食事も作ることが出来ないことが何度もあり、家族に心配を掛けていました。エルピスを飲んで1年、今ではすっかり元気になり透析から帰ってすぐに家事が出来るようになり、子供たちも「お母さん最近元気だね。顔色もいいよ」と安心してきています。悩みだった透析中の足のケイレンや頭痛もなくなりました。食欲も出てきて、透析に入ってから体重を20kgも絞られ、カサカサになったからだもチョットはふっくらとうるおいも出て来たようです。

埼玉県 51歳 女性 透析歴2年

○便秘の解消が一番うれしい。おなかガスツクリしていると若返った気分になります。からだも軽く、食事もおいしく感じます。透析中の血圧もまだ下がりますが、以前ほどでなく倦怠感も軽くなりました。山の同好会に入り毎月の山行を楽しんでいます。

神奈川県 55歳 女性 透析歴5年

○今年は元気で夏を乗り切ることが出来ましたし、旅行に二度も行くことが出来ました。ここ10年来なかったことで、体力に自信ができました。悩みだった透析中の血圧低下や透析後の倦怠感が、以前よりずっと少なく軽くなっています。お通じが良くなり食べ過ぎて困るほどですし、ヘマトは最高で34となり、貧血も改善しました。エルピスを知る前より心身共にシャキとした感じがしています。

福岡県 70歳 女性 透析歴11年

○風邪を引くと透析がつかなくなり、倦怠感が増し、食欲は減退し、からだがいよいよ衰弱していく悪循環に陥り、治るまで何ヶ月もかかるありさまで、風邪の季節がくるといつもビクビクしていました。今年は幸いなことに一度も風邪を引かず、体調も良く元気に過ごしています。これも昨年飲み始めたエルピスのお陰と感謝しています。気になっていた不整脈も出なくなり、貧血も改善しています。

岡山 65歳 男性 8年

○エルピスはカルニチンやアルギニンなどのアミノ酸に加え、ルチン、鉄など透析患者が必要とする栄養成分がバランスよく入っているし、甘味料も血糖値を上げないものを使用しているなど、細かいことまで気を配ってあるので安心して飲める。毎日1本おいしく味わって、楽しみに飲んでる。毎日の疲れが違うし、カエミがここ3ヶ月でない。

宮城県 75歳 男性 透析歴7年

エルピス利用者の声

飲んで実感・栄養補給効果

おかげさまで
多くの方に喜んで
いただいています。



流出し、
欠乏しやすい
栄養成分の
補給に

専門医の
ご協力を得て
開発いたしました。

いつも元気で、いつも快適に！

平成11年発売以来、
大好評の実績！

天然由来の
L-カルニチン、アミノ酸が
たっぷり

カルフェロ

Carfero

カルニチン(天然L-カルニチン・アミノ酸含有)
還元麦芽糖水飴/リンゴ果汁/クエン酸
リンゴ酸/ビタミンB₆/ナイアシン
クエン酸鉄ナトリウム/ビタミンB₁
葉酸/他

一瓶中のリンは2.5mg、カリウムは2.5mgと
微量です。安心してお飲みください。



L-カルニチンを多く取りたい方に！
バランスのとれた栄養補給に効果的

高配合！L-カルニチン350mg
◆必須アミノ酸、ビタミン、ミネラルなど

カルフェロ マルチ20

L-カルニチン/クエン酸/濃縮リンゴ果汁
クエン酸鉄ナトリウム/ナイアシン
メチルヘスベリジン(溶性ビタミンP)
L-バリン/L-リジン/ビタミンB₁/ビタミンB₆
ビタミンB₁₂/葉酸/他

一瓶中のリンは0.4mg、カリウムは2.4mgと
微量です。安心してお飲みください。



ポイントを貯めると「カルフェロ」・「マルチ20」
またはベータ食品の特選品をプレゼント！

1箱(50本入り)
お買い上げいただくともれなく
5ポイント
(約8%OFF=750円相当お得!)
進呈!

「通常ご注文コース」

カルフェロ・
マルチ20とも

1箱(50本入り) ^{5ポイント} → 9,500円
(送料・税込)

お試し用(10本入り) ^{1ポイント} → 2,220円
(送料・税込)

商品ご購入・お問い合わせ

ベータ食品株式会社

〒531-0071 大阪市北区中津1-6-28

料金不要の
フリーダイヤル **0800-111-3211**

「カルフェロ」・「マルチ20」係専用
0120-831-123

受付 ●平日/9:00~18:00 ●土・日・祝/10:00~17:00

FAX **06-6371-7110**

健康相談室 ☎ **0120-771-315**

「定期お届けコース」がおトクで便利！

「定期お届けコース」は、その都度ご注文いただくなくても定期的に
お客さまのご希望日ごろにご注文の商品を、おトクな価格でお届けします。
(ただし、3回以上をまとめてお申込んでいただいた場合に限りです。)

例えば 価格がさらにおトクになります！

カルフェロ・
マルチ20とも

1箱×3回以上 ^{5ポイント} 通常価格 9,500円 → **9,300円**
(送料・税込)

2箱×3回以上 ^{10ポイント} 通常価格 19,000円 → **17,800円**
(送料・税込)
1箱50本当り **8,900円**

例えば お届けをこんなふうにご選べます！

①25日ごと ②50日ごと ③100日ごと ④その他 日ごと

●商品の発送は日通ペリカン便でお届けいたします。

販売元/ベータ食品(株) 製造元/滋養製菓(株)

透析スタッフ
・
透析者の
みなさん

「湯カラッと」は体にやさしい入浴器具です

負担の大きいサウナと勘違いしないでください!

「湯カラッと」の商品特長



- ・40℃～50℃の低温で発汗できる仕組(特許)で安心。
- ・お風呂のような静水圧が無いから楽々入浴。
- ・汗の出ない体質を発汗できる体質に改善。
- ・皮膚の新陳代謝を良くし、かゆみを低減。
- ・心肺機能の強化と自律神経の鍛錬に最適。
- ・全身の血流の改善と冷えの改善、及び心身のストレスの解消に



1分間組立・着脱のスペースでOK!



和室でOK!

好きな場所・時間・温度で使用



入浴後は乾燥運転で衛生的



軽い・カンタン・コンパクト



1回30分の使用で、5～9円

水分管理

かゆみ

冷え

体調不良

不眠

あなたはまだ悩み続けるのですか?

4000名以上の透析者が悩みの解消に役立っています。

「湯カラッと」を継続して使用している透析者の95%が効果を実感!

悩むより、まず一週間無料でお試ください

①TELまたはFAXで
モニター申し込み



②モニターが届く



③ビデオを見て
簡単にセットする



④一週間家族で
ためてみる



⑤モニター期間が過ぎたら
着払いで返却する



パンフレット、モニターをご希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

お客様相談室 フリーダイヤル

TEL **0120-31-8065** まで

オンキヨーリブ株式会社 東日本営業部
〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目3番12号 本邦八重洲ビル2F
TEL (03) 3548-1571 FAX (03) 3548-1573

標準価格 218,000円 会員特別価格 174,400円(税抜き) [月々6,000円均等払いなど分割払いOK(3～36回)]

安全に対する注意 ●ご使用前に取扱説明書をお読みの上、正しくお使い下さい。●体調に不安のある方は医師にご相談の上、ご使用下さい。●効果には体質などにより個人差があります。